

生活保護世帯で育つ子どもが大人になって、
再び生活保護を受ける率は、統計上約25%。

4人に1人が負のループから抜け出せない。

家庭の経済格差が、子どもの学力格差の原因となり、
社会に出た後の収入格差と再び子の学力格差を生む。

負の連鎖を10年後に断ち切るため、今子どもたちへ
平等な学習機会と、上質な就労の後押しをしていくこと。
格差と貧困の連鎖を食い止めるため、今の大人たちが
いつも20年後の社会への、想像力と責任を忘れないこと。
私たち大人はすべての子どもたちへ、幾分かずつの責任があり、
すべての子どもたちは、私たちの社会の子もだと思えます。
社会を変えるのは、ひとりひとりの想像力です。

子どもにやさしいまちは、
あなたにもやさしいまち。



逗子を「子どもにやさしいまち」にしたい！

- ①子どもがまちの未来について意見を述べる「子ども議会」がある
- ②子どもが経済格差を感じることなく学習できる支援策が整っている
- ③子どもの健康な成長を支える小児医療環境や中学校給食を完備する
- ④子どもを親がひとりでも育てられるやさしい就労環境や施策がある
- ⑤子どもにいかなる差別も虐待も暴力もない社会を保障する
- ⑥子どもの公園や緑地、子ども食堂を見守り、助け合う地域の枠組みがある
- ⑦子どもは自然災害などの避難場所で、最優先でケアされる
- ⑧子どもが文化に親しむ機会にあふれ、「子どもにやさしいまち条例」がある

※①～⑧はユニセフの子どもにやさしいまち (Child Friendly Cities) framework (基本構造) を参考にしながら、逗子市がいつか子どもにやさしいまちに認定されるよう考えてみた私の提言です。子どもにやさしいまちの公式情報は<http://www.unicef.or.jp/cfc/about/about03.html>でご覧になれます。

私のHPは
こちらです



市政報告 (政策提言)
発行：長島有里事務所
逗子市逗子4-1-33
<http://nagashimayuri.com>

ご意見ご要望
はこちらまで

FAX:
046-890-0324
E-mail:
yuri_nagashima@yahoo.co.jp



長島有里 (ながしま・ゆり)
逗子市議会議員3期 (副議長)
会派：市政クラブ、無所属、39歳
略歴：立教大学法学部卒、
横浜市立大学院修了
NPO法人KANTAN副理事長
趣味：料理・読書・マラソン
大学生と小学生二児のママ

人口減少に負けない。
格差社会を是正したい。
子どもの貧困を一掃したい。
子どもたちに借金を残さない。
助け合うことをプラスにしたい。

そのまちは
あなたにも
やさしい。

子どもにやさしいまち

だから、

長島有里
ながしま ゆり

